

9/3(土) 「MODELING: DESIGN AND STRUCTURE OF A MODEL」

プログラム概要：

モンテカルロ解析などのモデリング技術、マルコフモデル、離散事象モデル等を紹介する。

講師：

・ **Mark S. Roberts**, MD, MPP, Professor & Chair, Department of Health Policy and Management, University of Pittsburgh Graduate School of Public Health, Pittsburgh, PA, USA

・ **Sun-Young Kim**, PhD, Assistant Professor, Department of Health Policy and Management, Seoul National University Graduate School of Public Health, Seoul, South Korea

プログラム内容：

Mark S. Roberts 氏は、数理モデル、デシジョンモデル、状態遷移モデル、マイクロシミュレーション、離散型シミュレーションについて説明された。例として HIV のモデルを提示し、治療有無や時期による生存期待年数の算出方法等をシミュレーションした。また、マルコフモデル、デシジョンモデル、マイクロシミュレーション等の使い分けやそれぞれの特徴について説明された。

Sun-Young Kim 氏は、エージェント・ベース・モデル、introduction よりも進んだ内容の感度分析手法について説明された。Introduction より進んだ内容として確率的感度分析の内容について詳しく説明された。

全体を通しての感想：

本や資料で目にしたことはあるものの、実際に業務では使用したことがない内容（トルネードダイアグラムや確率的感度分析等）について幅広く話を聞くことができ、有益な時間となった。各シミュレーションの違いについて、言葉で漠然と理解していた内容を図を使用して解説されていたため、理解が深まった。（以上、MH）